

平成 28 年 5 月 10 日

各位

360度包囲のオールインワンPC資産統合管理、クラウドサービスを開始 ～情報セキュリティ管理をクラウド環境で統一管理 情報システム部門の管理低減～

サクサホールディングス株式会社の事業中核会社であるサクサ株式会社（代表取締役社長 磯野文久、以下「サクサ」という。）は、企業内の膨大なPC資産の統合管理をクラウドで提供するソリューション「MCS Global Cloud」(Managed Client Security) サービスを5月より提供開始いたします。

また、東京ビックサイトで、5月11日（水）～13日（金）の3日間開催される『第13回情報セキュリティEXPO 春』に、出展いたします。

近年、社内・社外を含めた多様なネットワーク環境で業務を遂行する働き方の変化や、労働者人口の減少、マイナンバーなど情報漏えいリスク管理、資産を持たない効率的な経営など、多様な環境変化が起きています。

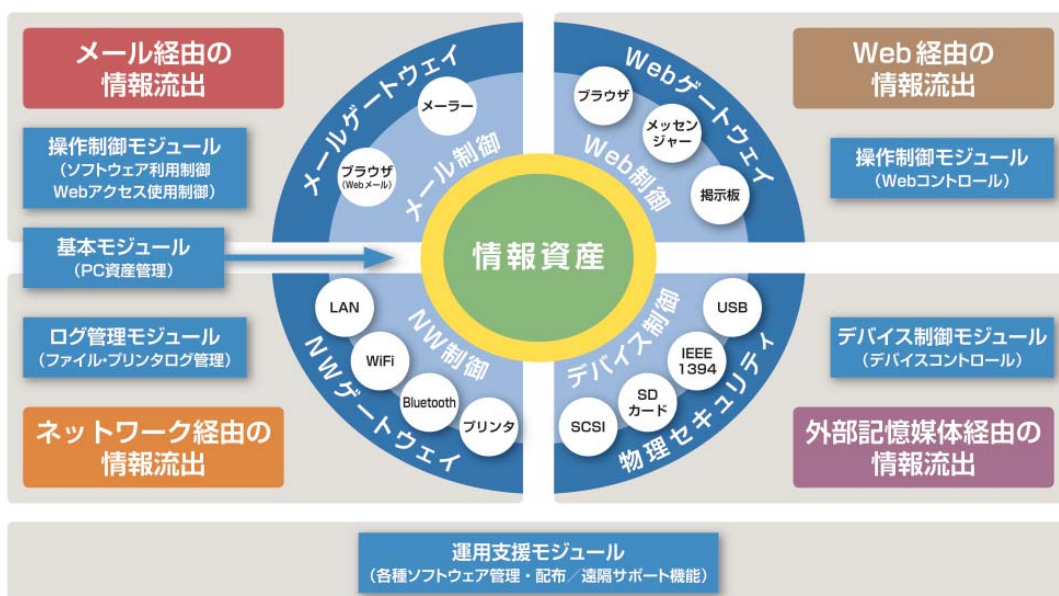
このような環境変化のなか、機器設備としてのハードウェア管理だけではなく、メール経由の情報流出、Webやネットワーク経由の情報流出、外部記憶装置経由の情報流出など、利用するそれぞれのPCのソフトウェアや接続機器も含めた情報セキュリティ管理が課題となってきます。

これらの課題に対して、①社内PCの情報収集しセキュリティを見える化、②社内PCのセキュリティレベルの統一化、③PCの不正利用の監視・制御などを実施し、情報システムの管理業務を大幅に低減するソリューションとして提供いたします。

本サービスは、中小から大規模オフィス向けに対応したPC資産統合管理ツールであり、すでに日本の大手キャリアや大手企業で数十万クライアントの提供実績を持つ株式会社クロスポイントソリューションのオンプレミス型ソリューションを、新たにクラウド型サービスとしてサクサが提供することになりました。

サクサは、これまで中小規模オフィス向けにUTM（統合脅威管理アプライアンス）「SS3000」やウイルス対策ソフトなどを提供し、運用コストや管理の点で多くのお客様から好評を得ております。今回さらに、中小～大規模オフィス向けに対応したサービスを提供することで集中事業としてのシステムインテグレーション事業を拡大していきます。

360°包囲するセキュリティ対策機能



■主な特長

1. IT 資産管理

ハードウェアおよびソフトウェアの情報を収集して IT 資産管理に活用できます。また、ソフトウェアライセンス管理により、不正使用を防止することもできます。もちろん組織単位設定、ログ監視のポリシー設定など組織を横断するグループ設定も可能です。

2 ログ収集・監視

Web アクセス、ソフトウェア利用、ファイル操作、印刷の状況を収集・監視できます。また、「見られていること」による意識付けから不正利用の抑止効果／意識向上を得られます。

3. 情報セキュリティ機能

不正利用防止：業務に無関係な Web サイトへのアクセス制限や、ソフトウェアの利用を制限することで、マルウェア感染の危険のある悪質サイトなどアクセス防止や、ファイル共有ソフトなどを禁止することができます。

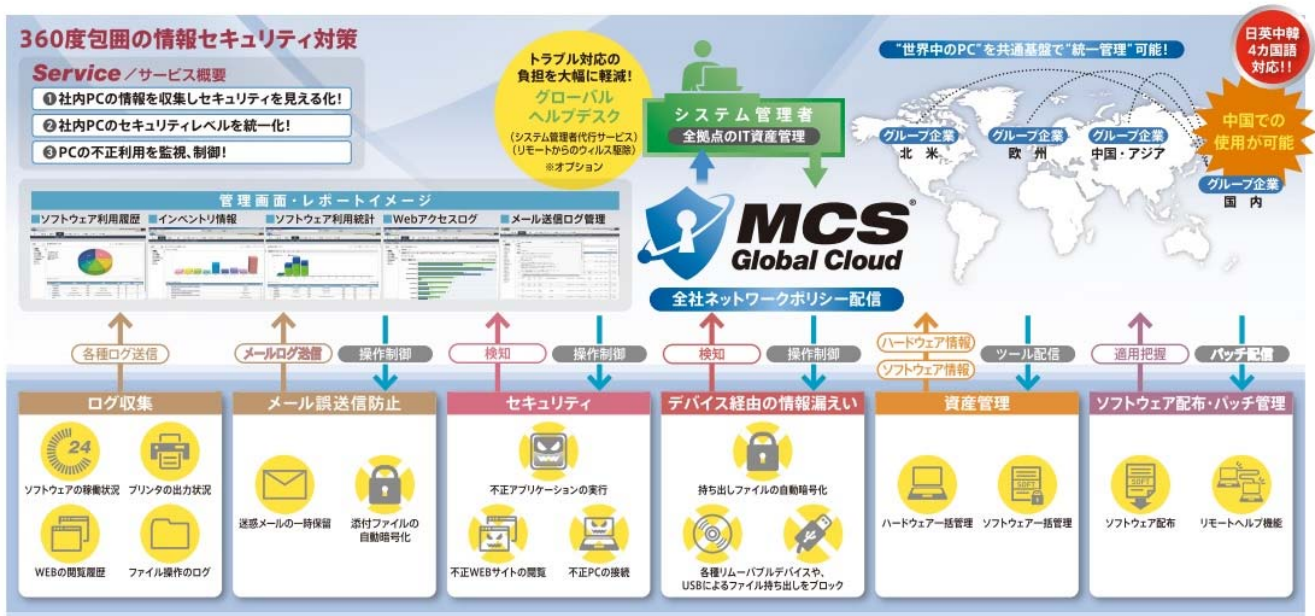
情報漏えい対策：USB やスマートフォンなどの外部デバイス利用を制限することができるため、企業の資産（設計ドキュメント、個人情報、重要ファイル）の持ち出しを防止できます。

メール誤送信防止対策：メールアプリからメール送信を一時的に保留し、利用者に再確認を促し、ケアレスミスを防止し、メール誤送信を防止できます。

侵入防止：MCS Global クライアントアプリが導入された PC 環境により、ネットワーク内に接続された機器を検知することで、MCS Global クライアントアプリ未導入の PC がネットワーク内の機器にアクセスすることを排除することができます。

運用支援：管理サーバの機能を利用してドメイン内からの遠隔操作や質疑応答が可能であり、調査に必要なログファイル取得、対策に必要な修正モジュールのソフトウェア配布、パッチ管理ができます。

■機能イメージ



■販売目標

今後 3 年間で 30,000 ライセンス

<販売に関するお問い合わせ>

サクサ株式会社 SI 事業部 事業企画部

担当：川嶋（かわしま）

TEL：03-5791-5545

<報道機関からのお問い合わせ>

サクサホールディングス株式会社 総務人事部

担当：末田（すえた）、福田（ふくだ）

TEL：03-5791-5511